



すえちゃん

# しりょうかんだより



どうたくん

No.15

## 春休み子ども週間「郷土資料館であそぼう！」開催中

郷土資料館では、3月24日(土)～4月8日(日)に春休み子ども週間を開催しています。

10時～16時(月曜休み)

扇子を的に投げて点数を競う投扇興、的あて、けん玉、貝あわせ、くるくる動画などで遊ぶことができます。

貝に絵を描いてオリジナル貝あわせ(1個50円)も作れます。ぜひお友だちを誘って遊びにきてください。

## 平成19年度上半期 子ども向け行事

資料館ですぐす「こどもの日」 4月28日(土)～5月6日(日)

・市民から寄贈された五月人形展示 第2展示室

・「よろいをきてみよう」日時4月28日(土)10時～16時口ビー

夏休み子ども月間 8月1日(水)～31日(金)

・親子講座 史跡めぐり、勾玉作り、土偶作り、古代機織り体験など盛りだくさんの内容です。ぜひ、資料館にあそびに来てください。



## 知ってる?! とよたのれきし

## 「なぜ松平に葵の紋があるの？」



葵の紋

みなさんは、「葵の紋」を知っていますか？。江戸時代に徳川将軍家が使った家紋です。それは江戸時代には将軍家ゆかりの限られた人しか使う事ができなかったものです。この家紋が豊田市の松平町にある松平東照宮や松平郷でたくさん見ることができます。何か将軍家と関係があるのでしょうか？

それは江戸幕府を開いた徳川家康の8代前のおじいさんがこの松平郷から勢力を広げていった松平親氏という人だからです。徳川将軍家にとって先祖の土地が松平というわけです。

家康は、現在の豊田市のとなり岡崎市で生まれましたが、家康が生まれた時には、松平郷にある井戸の水が早馬で届けられ、産湯に使われたといわれています。

松平郷には、館跡の「松平東照宮」、「松平城」(高さ300mほどの山城)、「高月院」(松平氏の墓所があります。)などがあり、国の史跡になっています。



松平親氏の墓(まん中の石塔)



松平親氏の像

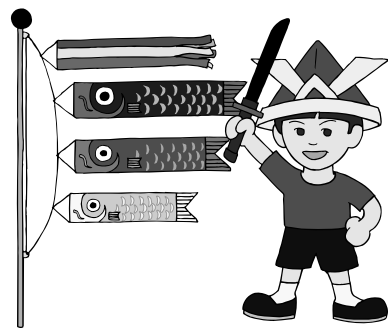
# きせつのはなし —端午の節供—

五月五日の子どもの日は端午の節供ともいわれますが、端午の節供には、どういう意味があるのでしょうか。「端午」とは月初めの午の日という意味で、中国の漢の時代に五月五日をさすようになりました。現在では男の子の節供として鯉のぼりを立て、武者人形を飾って祝います。また、菖蒲湯に入り、ちまき、柏もちを食べる風習も広く行われています。

このような行事は中国に古くからある病気や災いや邪気をはらう行事と、日本の田植えの前に行われた物忌み（身を清める）の行事と結びついたものです。

このような古くからの風習が現在のような形になったのは武士の時代になり「競馬」や流鏝馬（馬に乗って弓をいる競技）など勇壮な行事がこの日に行われること、邪気をはらうとされる「菖蒲」が「尚武（武を重んじること）」、「勝負」と音がおなじことから次第に男の子の節供と考えられるようになったようです。また、この季節に子どもが大人になるための「成年戒」という式が行われるので、けがれをはらうために菖蒲の鉢巻をして菖蒲湯に入る習慣もありました。

武者人形は古く宮中行事の「五日の節会」で頭にかぶった「菖蒲鬘」の前飾りに人形をつけたところから始まりました。人形は悪霊をはらう役割や、神様が来る場所を示すといった意味がありました。また鯉のぼりを立てる風習は、鯉が滝登りをするように勇ましく立身出世を願って江戸時代に町人の間で始められたといわれています。



## 民具

M I N G U

### 矢立

矢立は、持ち運ぶことができる文房具です。墨のはいった「墨つぼ」があり、細長い部分には筆が入っています。今の筆入れのような役目をします。

墨つぼの形は、四角や丸のほかに飾りが付いたものや、つぼ型のものなどがありました。



しりょうかんだより No.15

平成19年3月31日発行

編集・発行 豊田市郷土資料館

〒471 - 0079 豊田市陣中町1-21

でんわ 0565 - 32 - 6561

URL <http://www.toyota-rekihaku.com>

E-mail [rekihaku@city.toyota.aichi.jp](mailto:rekihaku@city.toyota.aichi.jp)

郷土資料館は、みなさんが住む豊田市の歴史を紹介したり、大事な資料を集めたり、遺跡の発掘調査などを行っています。